

日本社会保障法学会会報 第16号

発行日：2004.4.1 発行人：西村健一郎 編集人：岩村 正彦 発行：日本社会保障法学会
事務局：〒113-0033 文京区本郷 7-3-1 東京大学法学部研究室内 Tel：03-5841-3266
Fax：03-5841-3174 E-mail：secu@j.u-tokyo.ac.jp 会員数：613名（2004年4月1日現在）

第45回春季大会開催案内 日本社会保障法学会事務局長 岩村正彦（東京大学）

日本社会保障法学会第45回春季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加
いただきますようお願い申し上げます。

・日 時：2004年5月8日（土） 9：30～17：00

・会 場：金沢エクセルホテル東急（〒920-0961 金沢市香林坊2-1-2）

大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。

総会・シンポジウム会場：上記ホテル5階会議室

・お問い合わせ先 Tel：076-231-3912

・大会次第（予定：内容等の詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください）

受付開始・・9:00

開会・・9:30

個別報告

近澤貴徳（同志社大学院）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9:30～10:30

「地域福祉権利擁護事業の現状からみた権利擁護制度のあり方」

司会：井上恒夫（同志社大学）

嶋田佳広（大阪市立大学院）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9:30～10:30

「ドイツ連邦社会扶助法上の住居費実費支給原則」

司会：木下秀雄（大阪市立大学）

共通テーマ・シンポジウム

「年金改革の課題と展望」

司会：久塚純一（早稲田大学）

江口隆裕（筑波大学）

江口隆裕（筑波大学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10:40～10:45

「趣旨説明」

森浩太郎（厚生労働省）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10:45～11:25

「スウェーデンの年金改革における「連帯」と「公正」

田中耕太郎（山口県立大学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11:25～12:05

「ドイツの年金改革 日本の年金改革の論点との関連を中心に - 」

開催校挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12:05 ~ 12:15

休憩（昼食）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12:15 ~ 13:15

総会・・ 13:15 ~ 13:45

共通テーマ・シンポジウム（続き）

神尾真知子(尚美学園大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13:45 ~ 14:25
「女性のライフスタイルと年金改革」

台豊(新潟大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14:25 ~ 15:05
「日本の年金改革」

休憩・・ 15:05 ~ 15:15

久塚純一(早稲田大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15:15 ~ 15:30
「全体総括」

シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15:30 ~ 17:00

大会終了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17:00（予定）

同封の大会出欠確認はがきに必要な事項を記載の上、**2004年4月28日（土）**までにご返送いただけますようお願いいたします。大会に出席されない方も、必要事項を記入の上、ご返送ください。

本大会では、昼食の用意は致しません。会場周辺には昼食を取ることのできる場所がたくさんございますので、各自昼食をお取り下さいますようお願い致します。

本大会では、事務局の都合等により、託児コーナーは設けませんのでご了承ください。

会場校からのお知らせ - 大会参加費と懇親会について

今回学会は、以下の様な理由で金沢大学ではなく、金沢市内中心の香林坊にある金沢エクセルホテル東急で開催することとしました。まず、大学で会場費を徴収するという情報があったこと。そして、大学のある角間地区が遠くて不便なこと、学生の動員、パスの手配など事務的な負担を軽減したいこと。さらに、5月8日は、仏滅で、ホテル側が会場確保をしやすいという事情もありサービスしてくれることになりました。しかし、それでも若干の経費増となります。そこで、誠に恐縮ですが、大会参加費としてお一人1,000円の負担をお願いする次第です（当日受付でお支払い頂きますようお願い致します）。なお、懇親会は、以下にご案内の様に充実した内容となっておりますので、是非ご参加頂きますよう、重ねてお願い致します。

懇親会では、開催されます金沢の雰囲気や十分に満喫していただける内容となっております。お料理は、金沢エクセルホテル東急のシェフが腕を振るうフランス料理と、金沢の老舗料亭金茶寮がお届けする日本料理を組み合わせた和洋立食となっております。日本料理では金沢の食材を中心に加賀料理などもご用意いたします。また、ビール、ウイスキー、ソフトドリンクなどの一般的な飲物の他に、酒どころ石川県の地酒を金沢のみならず加賀や能登からも取り寄せたコーナーをご用意いたしますので、いろいろなお酒を飲み比べていただけるようになっております。アトラクションでは金沢の伝統芸能「一調一管」を予定しております。これは能の演奏形式のひとつで、調は「太鼓」を管は「笛（能管）」のことを申します。女性二人によるこの一調一管は全国でも極めて珍しく、古都金沢の伝統芸能として全国的にも高い評価を受けております。ぜひ当日は懇親会にご出席いただき金沢をご堪能ください。

なお、懇親会参加費は、会員5,000円 院生4,000円です。

企画委員会からのお知らせ 企画委員会委員長 本沢巳代子（筑波大学）

第45回大会は、個別報告として、関西地区と東京地区の研究会でそれぞれ事前に準備報告をされた嶋田佳宏会員と近澤貴徳会員の2本の報告があります。共通テーマ・シンポジウムは、「年金改革の課題と展望」をテーマに、江口隆裕会員と神尾真知子会員を担当理事として、東京の社会保障法勉強会における報告者の準備報告を経た研究成果が報告されます。今回の企画は、2004年の年金改革を目前にひかえて、そこで参考とされたスウェーデンやドイツの年金制度の現状と課題を分析するとともに、わが国の年金制度の将来像を検討することを目指したものであり、会員の皆様の積極的な議論の展開により、大きな成果が得られるものと期待されます。

今秋の第46回大会（2004年10月）は、国際交流委員会の企画による第1回国際交流講演会として、ドイツのマックスプランク国際社会保障法研究所前所長ベルント・バロン・フォン・マイデル教授による講演が予定されており、この講演を受けた形で、共通テーマ・シンポジウムに代わるパネルディスカッションを、マイデル教授と学会員との間で行う予定です。その関係で、午前中にミニ個別報告大会として、個別報告4本を予定していますので、奮ってご応募ください。第47回大会（2005年5月）につきましては、笛木俊一会員を中心にホームレス問題と公的扶助の課題に取り組む方向で検討中です。

企画委員会として今後の企画を立てていく上で、若手学会員（40歳未満）の文献リストを作成し、当面は会報の紙面を利用して順次公表していく予定です。2003年1月から現在までに発表された論文や著書がありましたら、現物またはコピーを企画委員長宛にお送りください。お送りいただいた論文や著書の現物およびコピーは返却いたしません。

〒305-8571 つくば市天王台1-1-1

筑波大学人文社会科学研究所社会科学専攻 本沢巳代子 宛

若手学会員文献リスト（2004年4月現在のもの、著者五十音順）

| 著者 | 題名 | 出典 | 発行年月 |
|------|--|------------------------------------|----------|
| 上田真理 | 失業と最低生活保障 | 布川日佐史編『雇用政策と公的扶助の交錯』 49-76頁 | 2002年2月 |
| 同上 | 活性化する雇用政策 ドイツ連邦議会選挙を契機として | 労働法律旬報 1542号14-17頁 | 2002年12月 |
| 小西啓文 | 「判批」東京都重度心身障害者手当条例事件 | 法学新報109巻7・8号 189-206頁 | 2003年3月 |
| 同上 | 「判批」札幌高判平成14年11月28日賃金と社会保障1336号55頁 | 季刊社会保障研究39巻1号97-105頁 | 2003年6月 |
| 同上 | 介護保険法における市町村の保険者自治と低所得者問題 多摩地域を題材として | 中央大学社会科学研究所 研究報告 22号181-205頁 | 2003年12月 |
| 嶋田佳広 | ドイツ連邦社会扶助法上の住居費支給原則（1） 適切性と一部支給をめぐる連邦行政裁判所判例理論の展開と現状 | 法学雑誌 50巻2号304-331頁 | 2003年11月 |
| 同上 | ドイツ社会扶助定型化の理論と現状 | Vita Futura10号 39-45頁 | 2004年2月 |

| | | | |
|------------|---|--|---------------------|
| 田中孝明・河谷はるみ | 介護保険実施後の最重要課題：介護サービス契約、サービスの質の保障について－熊本県の実態調査を踏まえて | アドミニストレーション 10巻1・2号47-129頁 | 2003年8月 |
| 田中秀一郎 | ドイツ年金保険における世代間契約 世代間契約概念の歴史の変遷を中心として | 九大法学 86号309-339頁 | 2003年9月 |
| 中野妙子 | 疾病時所得保障制度の理念と構造(1) (2)(3・完) スウェーデンの傷病 手当保険を主たる素材として | 法学協会雑誌 120巻 4号717-799頁、 9号1691-1755頁、 10号1955-2030頁 | 2003年4月、 9月、10月 |
| 根岸忠 | 離婚とERISAによる給付 | 労働法律旬報 1527号 34-37頁 | 2002年5月 |
| 橋爪幸代 | 要保護児童の処遇に係る行政機関及び 司法機関の役割(1)(2・完) イギ リスとの比較を通して | 上智法学論集 46巻 1号51-78頁、 2号65-101頁 | 2002年9月、 2003年1月 |
| 原田大樹 | 福祉契約の行政法学的分析 | 法政研究 69巻4号765-806頁 | 2003年3月 |
| 廣田久美子 | 障害者の雇用保障に関する法的課題 ドイツ重度障害者法を中心に | 九大法学 83号277-331頁 | 2002年2月 |
| 八木橋泰仁 | 介護リスクマネジメントと生命保険事 業 サービスの質および介護保険法と の関係からの考察 | 生命保険経営 71巻4号 22-40頁 | 2003年7月 |

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

2003年度11月定例理事会：2003年11月1日(土)
16:00～18:30 場所：関西大学(千里山キャンパス)以文館会議室

協議事項

- 44回秋季大会の運営について(略)
- 45回春季大会の運営について(略)
- 46回秋季大会の運営について(略)
- 学会誌編集委員会より
 - ・学会誌19号について、タイトルや構成の確認
- 国際交流委員会より
 - ・外国人研究者の講演に関する提案
- 奨励賞について
 - ・2003年度奨励賞授賞式、および2004年度同賞の募集について確認
- 日本学術会議会員候補者推薦について
 - ・岩村正彦事務局長より、河野理事が第19期日本学術会議会員として推薦された旨の報告
- 日本学術会議関連事項について
 - ・河野理事より、日本学術会議の最新の動向について報告
- 入退会者報告(略：入退会者紹介欄をご覧ください)

2003年度12月定例理事会：2003年12月20日(土)
16:00～18:00 場所：京都大学人間環境学研究科研究棟333号室

協議事項

45回春季大会の運営について（略）

46回秋季大会の運営について（略）

47回春季大会の運営について（略）

学会誌編集委員会より

・加藤智章学会誌編集委員長より、学会誌19号について報告

国際交流委員会より

・マイデル教授の特別講演と、それを受けたパネルディスカッションについて、久塚純一国際交流委員長より提案

奨励賞審査委員会より

・2004年度奨励賞候補作応募について、本沢企画委員長より確認

日本学術会議関連事項について

・河野理事より、学術会議への関与の態様につき提案

入退会者報告（略：入退会者紹介欄をご覧ください）

学会誌投稿論文の募集について 企画委員会委員長 本澤巳代子（筑波大学）

学会誌投稿論文（「社会保障法」第20号掲載予定）を募集しています。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。募集要領は、会報第14号でお知らせしましたが、念のため、下記に再掲載いたします。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
 - 2 投稿者は本学会会員に限ります。
 - 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、編集委員会で決定します。
 - 4 採用に当たっては、より一層に内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
 - 5 原稿の分量は、原則として、12,000字（200字詰め原稿用紙60枚）以内とします。
 - 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求して下さい。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避け下さい。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いず、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用して下さい。
 - 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
 - 8 投稿論文は、コピーを含めて3部提出して下さい。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
 - 9 締切は2003年9月30日（必着）とします。
 - 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付下さい。
- 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学法学部研究室内
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 本澤巳代子（筑波大学）

2004年度（第6回）学会奨励賞候補作品の推薦（自薦も含む）を、下記の要領で募ります。
なお、推薦された候補作品は審査委員会で審査の上、受賞者は秋の総会で表彰いたします。

記

- 1 対象作品：2003年（1月から12月）に公刊された著書および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に35歳以下の会員
- 3 受賞者数：原則として1名
- 4 締切：2004年5月31日
- 5 推薦の通知先：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学法学部研究室内
日本社会保障法学会事務局 宛

学会誌編集委員会からのお知らせ 学会誌編集委員会委員長 加藤智章（新潟大学）

会員各位のご協力のもと、学会誌第19号が完成しました。ありがとうございました。
横組化にリニューアルした学会誌、いかがでしょうか。次号にむけて改良を重ねてゆきたいと思えます。

会員各位の忌憚のないご批判、ご教示をお待ちしております。

なお、大会当日の休憩（昼食）時に、編集委員会の開催を予定しております。

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

次回以降の学会大会について

第46回秋季大会は、2004年10月23日（土）日本大学にて開催される予定です。

学会ホームページ

日本社会保障法学会では、学会公式ホームページを運営しております。

URLは、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jassl/index.html> です。

ホームページにつきまして、ご意見等ございましたら学会事務局までお知らせ下さい。

学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは事務局に、13号以降は法律文化社営業部（075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

入退会者紹介

日本社会保障法学会事務局

- ・2003年11月1日、12月20日の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。

(順不同、敬称略)

柳楽晃洋(高知女子大)

細谷越史(大阪経済法科大)

齋藤大介(筑波大院)

川原由子(熊本学園大院)

堂田俊樹(金沢大院)

宮内良樹(東洋大学院)

古川孝明(長崎大学熱帯医学研究所)

忠海弘一(忠海法律事務所)

菅富美枝(大阪大院)

和田美智代(華頂短期大)

田中達也(筑波大院)

河野 喬(広島福祉専門学校)

下内志保(鹿児島大院)

建部久美子(皇學館大)

森誠次(名城大院)

高塚彩恵(法政大院)

- ・2003年5月9日、7月19日の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。

(順不同、敬称略)

瀬戸由紀子、近藤正三、筆宝和幸、桂泰三